

パウダーの聖地へ！

ニセコ連峰 ニセコ山スキー～2

去年は一人でニセコに行き、ゲレンデと山スキーでパウダー楽しんだ。今年は手嶋さんの山行にご一緒させて頂けることになり、4日間、ニセコを満喫した。

2月15日(金)：くもり

14日の夜の飛行機で新千歳入りし、空港で一泊。朝一のバスでニセコに向かった。

13時前にヒラフに到着。2/6からニセコに滞在している手嶋さんとヒラフで合流。これからの山行の成功を祈り固い握手を交わす。手嶋さんはこの日も午前中にイワオヌプリをやってきたそうで、雪質は最高だったとの事。午後の雪にも期待がかかる。午後からなので軽めに、スキー場利用のアンヌプリ北斜面、通称「北斜」に行くことに。早速リフトに乗り込み、3本乗り継いでリフトトップへ。

スキー場のゲートから場外区域にでて山頂を目指す。階段状になった斜面を、つぼ足で登り、すぐに山頂へ。風も強くなく、視界は良好。麓まで見えている。少し尾根を西に行き、さっそく斜面へ。上部は固いが、少し滑ると快適な雪に。午後なので結構滑られているが、まだかなりパウダーが残っている。良さそうな場所を適当に滑り、麓まで着くと、トラバースして HANAZONO スキー場へ帰った。さすがニセコの雪。滑りやすくて自分がうまくなったと錯覚してしまう。明日からの3日間も楽しみだ。宿は手嶋さんのニセコでの常宿にお世話になることに。

2月16日(土)：晴れ

チセヌプリの駐車場に着くと、車がたくさん停まっている。どうやら後発のようだ。スキー場の脇にトレースがあるので、使わせてもらう。ニセコでは珍しく晴れているので気持ちが良い。

1時間弱で旧リフトトップの横を通過し、台地で休憩。チセヌプリに取り付こうとしている先頭パーティーが見えたので、追いかける。ノートレースを滑りたいのでチセの斜面をガシガシ登り、先頭で山頂に着くことができた。

【日程】

2019年2月15日(金)～18(月)

【メンバー】

手嶋 (L)、野口 (SL)

【地形図】ニセコアンヌプリ、チセヌプリ、羊蹄山

【記】野口



チセの山頂で記念撮影

去年来たときは真っ白でスキーを担ぎながらコンパスを頼りに何とか山頂まで行ったが、今年は快晴、無風。岩内の町の向こうに海まで見える。

絶景だ！

少しばかり景色を楽しんだら、滑降にうつる。



チセの南面

南面を滑り、緩くなったら西にトラバースすることにして滑り出す。山頂直下は固いがすぐにパウダーになり。歓声を上げながら滑り降りる。雪質が良すぎて笑いが止まらない。

楽しい斜面はあっという間で、200m程滑ってトラバースを開始し、シャクナゲ岳方面へ向かう。目指すビーナスの丘は円錐形のシャクナゲ岳のすぐ北の台地だ。朝一で向かったパーティーがちょうど滑り始めたところで、どんどんシュプールが着いていく。こちらはチセのノートラックをやったあとなので、焦りはない。余裕で見守る。1時間ほどでビーナスの丘に到着。ここからシールを剥がし、東側の長沼へ滑り込む。すでに滑られているが、広いので問題ない。極上のパウダーだ。晴天のなか、雪煙を上げて滑る。これだから山スキーはやめられない！

例えではなくて、本当に笑いが止まらず、爆笑しながら滑ってしまった。長沼まで一気に滑り、シールを付けてチセとシャクナゲの間のコルに登り返す。シャクナゲもやろうかと思っていたが、ちょうど天気が悪くなってきたし、2本滑って大満足したので、戻ることに。

ほぼ登って来たとトレース沿いに戻り、すぐ横の温泉に入って今日の山行は終了。

快晴無風の中、パウダーを楽しめた最高の日だった。



ビーナスの丘

2月17日(日):曇り

本日は羊蹄山の南面をやりに行く。今回のニセコで手嶋さんが2回行き、最高だったので野口にも味わってもらいたい、と言っていた場所なので、期待大だ。羊蹄山は去年のGWに栗原さんと山頂まで登り、充実した春山スキーを楽しんだ山だ。厳冬期はどうなっているか楽しみ。

だが、昨日の晴天のツケか、雪が全く積もっていない。2週間滞在している手嶋さんが、出発前に車の除雪をしなかったのは初めてだ、との事。残念だが、まずは現地に向かう。

真狩側の登山道があるところから登り始めると、新雪は全くなく、スキーのトレースでボコボコだ。樹林帯をグングン登っていくが状況は変わらず、上空では風がごうごう行っている。

これは、ダメだな、と思うが、とりあえず行けるところまで行ってみる。

2時間と少し登り、950m付近で風が強くなり始め、雪が固くなってきた。これより上に行ってもパウダーは期待できないので、戻ることに。ガリガリでトレースでボコボコの斜面を、ただ降りる。30分ほどで駐車場へ。手嶋さんが開口一番「いやー、つまらなかったな!」と。ニセコでもこんな日はあるのですね。

2月18日(月):晴れ

今日が野口のニセコ最終日。北斜〜イワオヌプリをやることに。スキー場では風が強く、風待ちで一本ゲレンデを滑ってからゲレンデトップに向かう。20分ほどで山頂に。再び立ったアンヌプリ山頂は、烈風で長居は無用。北斜面へと滑り込む。視界は良く山麓までみえるのだが、雪はガリガリ



だ。下部の樹林帯で少しパウダーだったが、昨日に続き、今日も良くない。一息入れてシールを付けてイワオヌプリの山頂を目指す。下から見上げるイワオは真っ白でソフトクリームのような。急でガリガリの斜面を登り、1時間ほどで山頂へ。目の前にアンヌプリが綺麗に見える。山頂から少し下ってシールを外し、滑走へ。ガリガリである。ソフトクリームは柔らかかそうに見えて、冷凍庫でカチコチになったアイスのようなだった。

HANAZONO スキー場までトラバースし、山行終了。

良い日も悪い日もあり、山スキーは自然のなかでやっていることを改めて実感。だけど、晴天のパウダーを味わってしまったらもう抜け出せない。来年の再訪を楽しみにニセコを後にした。

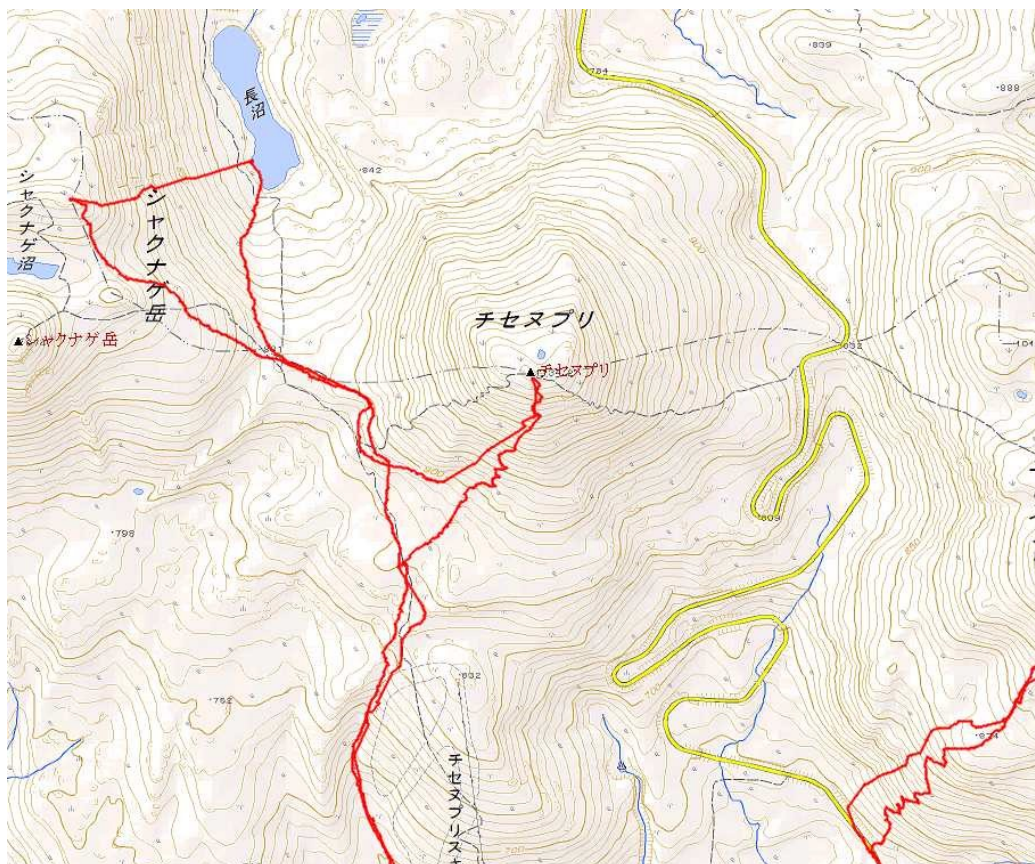
【行程】

2/15 リフト終点(13:30)～アンヌプリ山頂(14:00)～HANAZONO スキー場(14:50)

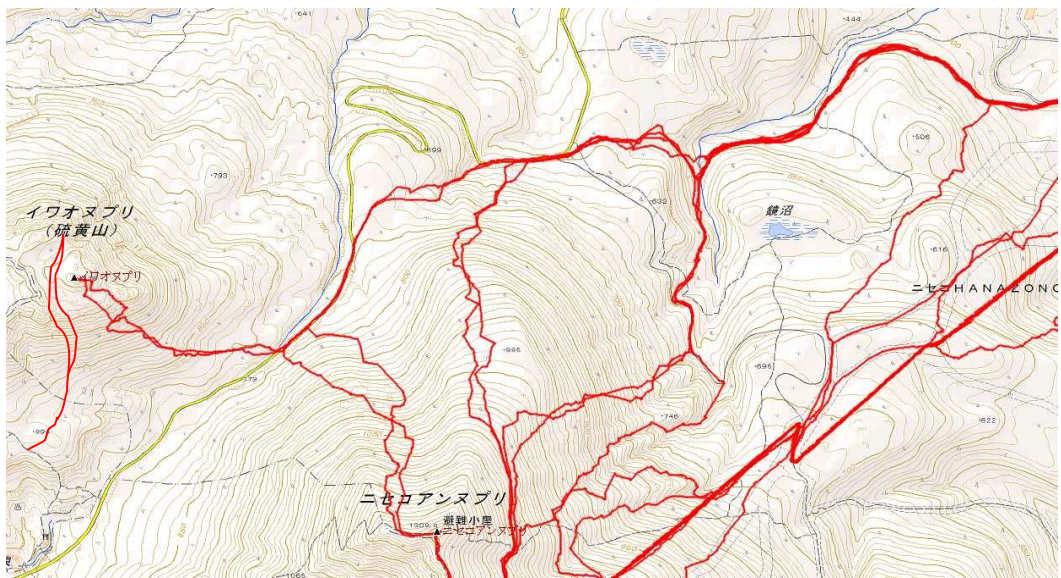
2/16 駐車場(9:00)～チセヌプリ山頂(10:45)～ビーナスの丘(12:15)～駐車場(14:00)

2/17 駐車場(8:40)～950m(11:00)～駐車場(11:30)

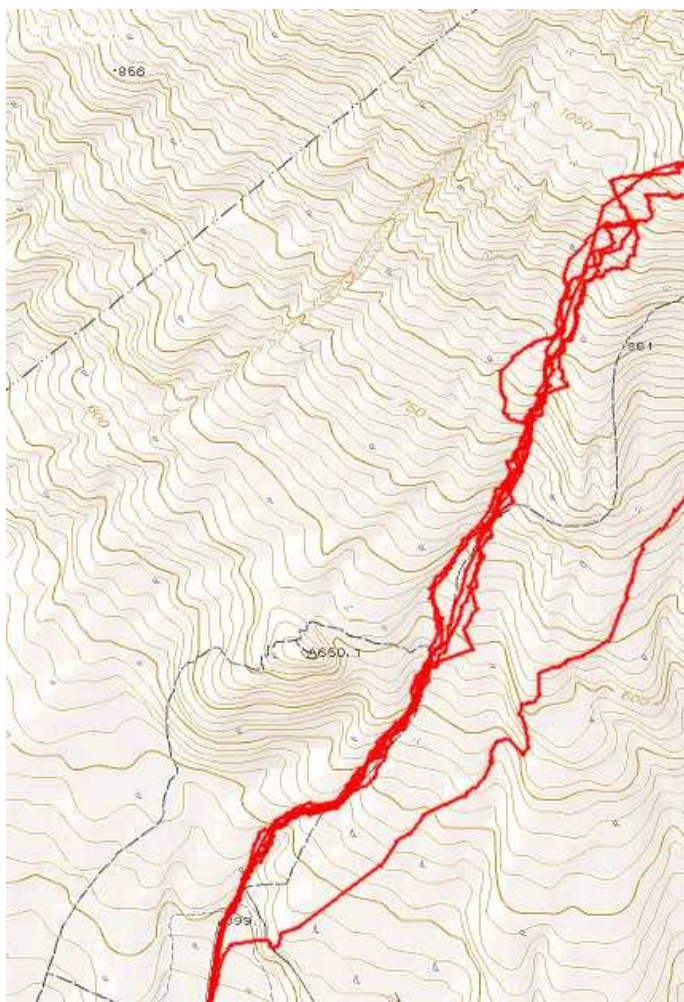
2/18 リフト終点(9:40)～アンヌプリ頂山(10:00)～イワオヌプリ山麓(10:40)～イワオヌプリ山頂(11:45)～HANAZONO スキー場(13:00)



ニトヌプリ、チセヌプリ周辺



ニセコアンヌプリ、イワオヌプリ周辺



羊蹄山南面